

●危険物安全週間が始まります。

令和元年6月2日（日）から6月8日（土）まで、全国一斉に危険物安全週間が展開されます。

次のことに注意して、無事故を目指しましょう。

- **ホームタンクからポリ容器等に小分け中**は、絶対にその場を離れない。



- **配管等の劣化**による流出事故を防ぐため、定期的に点検し、劣化したものは適正に交換する。

- **セルフスタンド**では、次のことを守り安全に給油をしましょう。

①エンジンOFF！

・必ずエンジンを停止し、給油は一人で行い、子供が近づかないように注意する。

②給油前には！

・注意事項をよく読み、操作手順に従って自分の車に適した燃料を選択する。

③静電気除去シートにタッチ！

・計量機にある静電気除去シートに触れて、体の静電気を取り除く。

④給油スタート！

・給油キャップを開けた後、給油ノズルを必ず奥まで差し込み、給油ノズルのレバーをしっかりと引いて給油をスタートする。

⑤給油終了！

・給油ノズルには、給油を自動的に止めるオートストッパー機能が備えられているので、絶対に注ぎ足し給油をしない。

●ホームタンクの事故事例

一般住宅のホームタンクから灯油を小分け中、その場を離れたため、灯油が周囲に流れた事故

●セルフスタンドの事故事例

利用者が自家用車にガソリンを給油中、オートストッパー機能が作動した後も継ぎ足し給油をしたため、給油口からガソリンが漏れた事故



空手 形 清水希容選手



● 地震に対する日常の備え

地震が発生した時、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが冷静かつ適切に行動することが重要です。

そのためには、みなさんが地震について関心を持ち、日頃から地震に備え、自分の身の安全確保や非常持出品などについて、家庭で取組をすすめていくことが大切です。



① 家庭での防災会議

地震の時には、まず自分の身の安全確保を第一に考え、また家族が慌てず落ち着いて行動できるよう、日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

② 家族との連絡方法の確認

家族が離ればなれで被災した時のことを考えて、お互いの安否の確認手段を考えておきましょう。

③ 備蓄品・非常持出品を備える

地震が発生すると普段どおりの生活ができなくなることも考えられます。数日間生活できるだけの水や食料品などの「備蓄品」を備えておきましょう。

地震の被害によっては、避難を余儀なくされることもあります。避難する時に持ち出す「非常持出品」を常備しておきましょう。

④ 防災活動への参加

地震に備え、避難訓練などの地域の防災活動に参加しましょう。

9月1日は防災の日で、8月30日から9月5日は防災週間となっており、各地域で防災訓練等が行われていますので、積極的に参加しましょう。

● 盛岡市内の1月から4月までの火災件数

	平成31年	平成30年	比較増減
火災件数	21件	13件	8件増
死者数	2人	2人	増減なし

● 平成31年4月中の火災7件の内訳

4月12日	三ツ割二丁目	住家1棟ぼや
4月12日	渋民字渋民	非住家1棟ぼや
4月20日	下太田下川原地内	車両1台焼損
4月21日	三本柳	堆肥ペレット及び稲わらロール焼損
4月22日	猪去橋場	住家1棟部分焼
4月26日	中央通二丁目	非住家1棟ぼや
4月29日	材木町	非住家1棟ぼや